

災害時における市の役割・市民の役割に関する調査

総務常任委員会

🔍 調査の目的

近年頻発する自然災害などから市民の生命を守るためには、市の発する情報が正確に市民へ伝わることはもとより、市民自身が避難などの行動を取ることが重要であることから、災害時に市、市民双方が互いに必要な行動をとり、被害の軽減に資することを目的に調査を行った。

🔍 調査の期間

令和4年1月～令和5年2月(委員会を13回開催)

🔍 調査の手法

1 現状把握

(1) 市の担当部署から説明を聴きました(4/25)

部署 危機管理室

主な内容

- ①災害時の市の役割、市民の役割について
- ②平常時の減災のための市の役割、市民の役割について



(2) 関係者や専門家などを招いて意見を聴きました(8/4・10/21)

主な内容と参考人

- ①杉妻地区防災マップ・杉妻地区防災計画の作成に携わって(8/4)

元杉妻地区町会連合会会長 尾形 武治 氏

- ②災害場面における人々の心理と行動について(10/21)

福島大学 理工学群 共生システム理工学類 教授 筒井 雄二 氏



2 先進事例調査

(1) 他市町村の取り組み状況を調査しました(10/31~11/2)

主な内容と調査先

- ① 戸田市防災基本条例について(埼玉県戸田市)
- ② とよはし防災リーダー養成講座について(愛知県豊橋市)
- ③ 地区防災計画制度の運用及び地区防災計画策定の促進手法等について(兵庫県神戸市)



📎 調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(3/24)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



📎 議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から市長へ、提言書を提出しました(3/24)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ①防災体験機会の拡充について
- ②子どもの興味、関心を引く防災啓発の拡充について
- ③地区防災計画制度の周知について
- ④わかりやすい地区防災計画の策定支援について
- ⑤地区防災計画及び地区防災マップの作成マニュアルの作成、公開について
- ⑥地区防災計画策定後における学習の機会の確保について
- ⑦市民との共創による防災条例の策定について
- ⑧防災リーダー養成講座の実施について
- ⑨自主防災組織連絡協議会の設立及び防災活動への支援について
- ⑩優良自主防災組織の活動事例の広報手法の工夫について
- ⑪地域防災活動の支援体制の拡充について
- ⑫避難インフルエンサーの取組について
- ⑬家族からの緊急避難連絡の取組について
- ⑭危険の切迫性の伝達手法について

